



沼津から一時間で幕末



下田芸者
柘家 奈美さん



国土交通省中部地方整備局
おおさき 大儀 道路部長

伊豆縦貫道サミットin下田

昨年11月19日、大浦にあるワーケーション施設「Work x ation Site 伊豆下田」にて、「伊豆縦貫自動車道サミットin下田」が開催されました。サミットには、国土交通省中部地方整備局大儀道路部長、伊豆半島南部の2市5町の市町長、議長など関係者約30名が参加し、オンライン生配信をした動画は、約180回再生されました。

サミットでは、天城峠区間を含む伊豆縦貫道の全線開通に向けた、まちづくりの展望と未来について共有しました。パネルディスカッションの中で、下田芸者・柘家奈美さんは、「会場から見える海には黒船が止まっていた。下田には、様々な幕末の歴史があり、伊豆縦貫道が全線開通すれば沼津から1時間で幕末を感じることができる。」と伊豆縦貫道の完成と下田の歴史文化の発展に期待を寄せました。大儀道路部長は、「魅力のある伊豆半島を発信していくためにも、伊豆縦貫道全線開通に向け頑張りたい。」と語りました。



昨年11月6日、道の駅開国下田みなとで開かれた「伊豆大特産市」にて、伊豆縦貫道の整備効果や進捗状況、完成イメージ図などのパネル展を行いました。パネル展には、市内から県外まで多くの方が訪れ、パネルを見た方々に伊豆縦貫道への期待や思いを付箋に書いてもらいました。その中でも、「二日でも早く開通してほしい」という意見が多く寄せられました。



伊豆縦貫道パネル展

「命の道」伊豆縦貫自動車道だより

問合せ先 建設課伊豆縦貫道係 ☎2219



河津下田道路I期起工式

昨年11月19日、箕作交差点付近で伊豆縦貫自動車道国道414号河津下田道路I期起工式が執り行われました。起工式には、川勝知事をはじめ、関係者約50名が参列し、「河津下田道路」の事業推進と工事安全を祈念して献入式等を行いました。

川勝知事は挨拶の中で「伊豆縦貫道は、伊豆半島の『命の道』になる。」と伊豆縦貫道への期待を寄せました。地元祝辞で下田中学校生徒会代表近藤風花さんは、「伊豆縦貫道の完成によって下田市だけでなく、伊豆半島全体の魅力が伝わってほしい。」と願いを込めました。松本市長は、河津下田道路I期の着工の感謝を述べるとともに、「天城峠を越える区間」の新規事業化の重要性について訴えました。



下田中学校生徒会代表 近藤 風花さん



河津下田道路II期一部区間 3月19日開通

河津下田道路II期の一部区間の開通日とインターチェンジ名が発表されました。開通日は、3月19日(日)。

インターチェンジ名は、それぞれ河津七滝IC、河津逆川ICとなりました。

今回開通するのは、河津町梨本から河津町逆川を結ぶ延長3kmの区間であり、夏期大型車通行規制区間の迂回解消及び約13分の時間短縮が可能になり観光や防災、医療面の強化が期待されています。

※河津下田道路はI期とII期から構成されており、I期は、伊豆縦貫自動車道の南端部を構成し、六丁目から箕作までを結ぶ延長5.7kmの道路。II期は、河津町梨本から箕作を結ぶ延長6.8kmの道路。



河津下田道路開通による時短効果 (下田市算出)	
河津七滝IC～(仮称)下田IC	
現状	開通後
距離: 約21km	距離: 約13km 約8km短縮
時間: 約32分 (速度40km/時)	時間: 約13分 (速度60km/時)